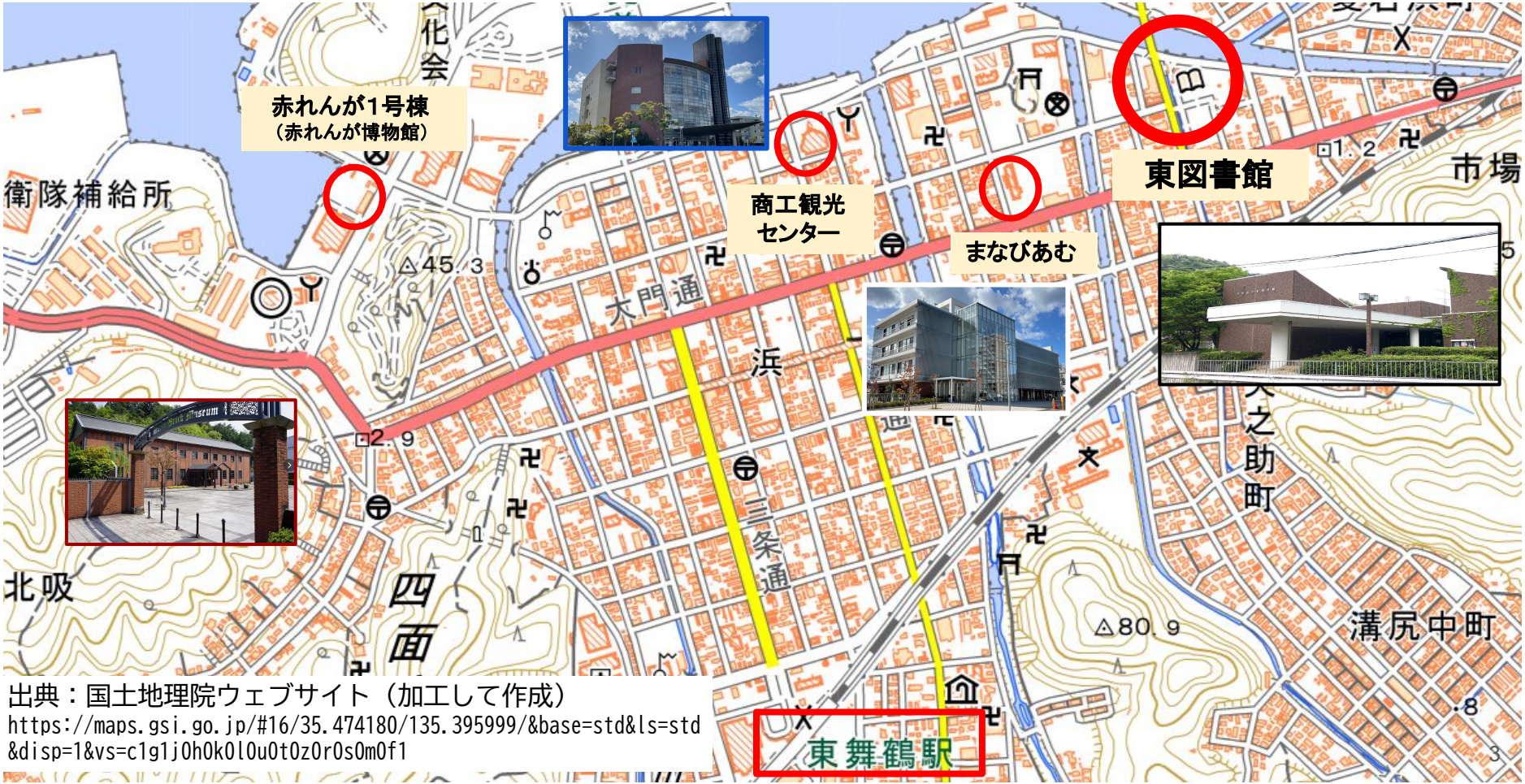
【資料】東分館の候補施設に赤れんが１号棟（現赤れんが博物館）を加えることについて



舞鶴市立図書館現在地及び新たな図書館配置予定図（候補施設含む）



東図書館と新たな東地区図書館候補施設との位置関係について



出典：国土地理院ウェブサイト（加工して作成）
https://maps.gsi.go.jp/#16/35.474180/135.395999/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1

図書館東分館の候補施設の比較

【施設名】	新候補施設	従来候補施設	
	赤れんが１号棟	商工観光センター	まなびあむ
コンセプト	滞在・交流型空間 （近代化遺産保存センターとの連携）	身近な知的空間 （事業者・就業者向けサービスの強化）	ゆったりゆっくり時間を過ごす空間 （多世代交流施設の機能を補完・補強）
開架冊数	○（3万冊）	（2～3万冊）	（5千～1万冊）
延床面積	◎（500㎡）	（400㎡）	（150㎡）
東図書館との近接性	（1.4km）	（0.75km）	◎（0.35km）
活用する空間	（既存集客施設）	（ロビー）	（フロア・部屋）
バス停からの距離（東西循環線）	「赤れんがパーク市役所前」から300m	「大門通り/駅前通三条」から600m	「大門通り/駅前通三条」から600m
駐車場からのアクセス（安全性）	○（東体育館前）	△（市営７条駐車場）	○（敷地内駐車場）
分館入口までの動線（利便性）	○（1階）	○（1階）	△（2・3階）
主なターゲット	○（あらたな客層を開拓） 自衛官・保安学校生、サードプレイスを求める人など	△（就業・リカレント）	△（高齢者・親子・余暇）
運用のしやすさ	◎（事務室有り）	△（専用事務室無）	△（事務室兼用可）
窓口機能・レファレンス	◎（専用窓口可）	△（専用窓口無）	○（窓口兼用可）

「赤れんが1号棟」の空間・機能イメージ



中央図書館（司令塔）と連動した広域への図書館サービスを提供しつつ、市民や若い世代が誇りを持って集える「上質な滞在・交流型分館」を創出。

【１階】「オープン＆ウェルカムゾーン」～市民が憩う交流の場へ～

■ 予約・貸出・レファレンスコーナー
- 中央図書館のシステムとも連携した予約・受取・返却・情報検索窓口。

■ くつろぎの閲覧スペース
- 親子連れや高齢者、自衛官・海上保安学校生なども過ごせる憩いの場。
- 前庭広場での図書閲覧も可能。



【２階】「サイレント＆ワークゾーン」～学習・研究と静寂の場へ～

■ ワーク＆学習キャレルデスク（Wi-Fi・電源完備）
- 集中して資格勉強や学習、PC作業に取り組める空間。

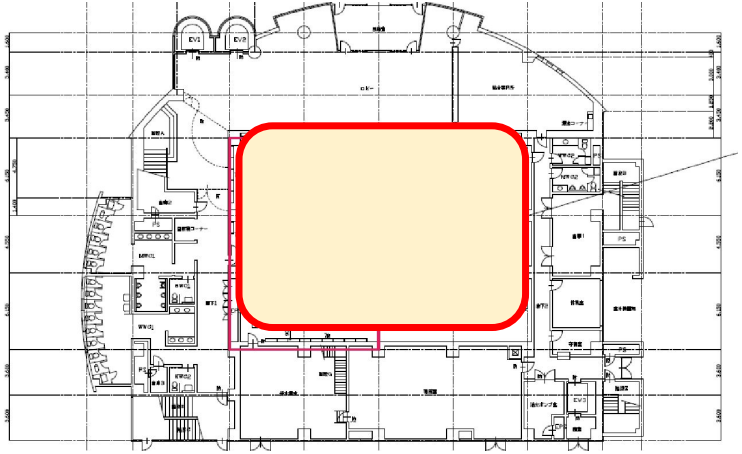
■ 静寂の閲覧・調査研究ライブラリー
- 快適なパーソナルチェアを配置し、読書や教養・研究に没頭できるサードプレイス。

■ 近代化遺産保存センターとの連携
- 舞鶴の歴史、海軍・海上自衛隊・海上保安庁等に関連する資料を展示。

◆開架冊数：30,000冊［東図書館：86,215冊］、◆延床面積：500㎡［東図書館：1,014㎡］
◆休館日：週１日

「商工観光センター」の空間・機能イメージ





■利用者イメージ

〇施設利用者の目的に合わせた通信環境やデジタル情報を備えるなど機能性を重視。
〇商工会議所と連携した講座等の開催や高校生等を対象にした企業紹介の実施。
〇高校生などが集い、気軽に調査研究・交流ができる場の提供。
〇現在の東図書館利用者に加え、「現役世代」や「若者世代」の活用に見合う設備を設置。

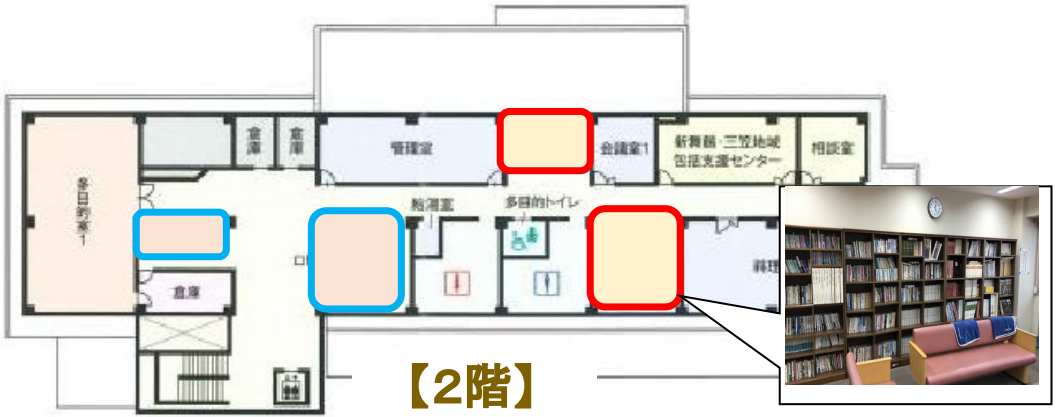
■サービス・設備

〇カウンターで蔵書の貸出・返却を実施。
〇検索機を設置し、市内全館の本の検索、予約、受取、返却を可とする。
〇ミーティングや小規模な講座、調べもの等ができる机・椅子も配置。
〇企業紹介動画やセミナーの案内等ができるモニターやスクリーンなどの設置を検討。

■窓口・レファレンス機能

〇中央図書館からの司書の派遣。
〇オンラインによる中央図書館司書によるレファレンス対応。

「まなびあむ」の空間・機能イメージ



○蔵書を新鮮な資料へ入替
○現在の施設利用者は、これまで通り利用可能。
○施設の機能や役割を補完・補強する図書館として活用する。



■利用者イメージ
○ゆっくりおしゃべりをしながら過ごすことのできる空間を重視。
○高齢者がゆったり自分の時間を過ごせる空間。
○自主学習を目的とする中高生等がゆっくり滞在できる空間や、個人でも活用できる自主学習スペースを配置。
○落ち着いて新聞・雑誌が閲覧できるコーナーを充実。
○高齢者による読み聞かせなどを実施。

■サービス・設備
○本を読みながらゆったり過ごすことができるよう座席を配置する。
○書架は空間に応じて館内に分散して配置するが、カウンターを１ヶ所設け、そこで本の貸出・返却を実施。
○検索機を設置し、市内全館の本の検索、予約、受取、返却を可とする。
○会議室の一部を時間を限定して自主学習スペースとして活用する。

■窓口・レファレンス機能
○まなびあむ職員のうち、司書資格を持った職員が、本の紹介・相談受付などを実施。
○オンラインによる中央図書館司書によるレファレンス対応。

赤れんが1号棟・東分館移転スケジュール（案）

★１号棟改良スケジュール概略

	令和８年度						令和９年度												令和１０年度												令和１１年度											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
赤れんが博物館	★移設検討・決定																						リニューアル準備								★オープン（６号棟）										
図書館東分館	★候補施設検討・決定						内部検討・運営検討																改修・備品・書籍搬入								★オープン										
近代化遺産保存センター																															★オープン										

★図書館再編スケジュール概略

	令和８年度						令和９年度												令和１０年度												令和１１年度											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
中央図書館				★着工								施工											竣工予定																				
東図書館																						縮小運営（仮設分館）					★閉鎖				除却											
西図書館																						★閉鎖									除却											